

「授業年間計画表」（シラバス）

令和5年度版

教科・科目	教科	科 目	単位数	履修学年
	公民	公共	2 単位	1 年 全 コース
目 標	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する ・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる ・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う			
使用教材	教科書：「高等学校 新公共」（183・第一学習社・公共711） 副教材：サブノート、プリント、新聞、雑誌、ネット情報等			
評価の観点・評価規準	【知識・技能】		【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付け、多面的・多角的な考察や深い理解を通して人間としての在り方生き方について考え、主権を担う公民として、協力・協働して地域社会と世界の平和・繁栄を図る自覚を育んだ。
評価方法	○授業に意欲的に取り組み、発言・発表等を行う。 ○しっかり事前の準備をして定期テストを受け、最後まで諦めないで取り組む。 ○ノート、宿題等確実に提出する。			
学期	学習内容		学習のねらい	学習活動
1	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間における私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方 生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理 第2編 自立した主体としてより良い社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義 第2章 政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成		・社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として社会の公共的な空間をつくる存在であることを学ぶ。 ・先人の取り組みや知恵をふまえ、社会に参画するための手がかりとなる概念を理解する。 ・公共的な空間における基本的原理を理解する。 ・法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することを通して、権利や自由が保障され、社会の秩序が維持されていくことについて理解する。 ・法やルールを定めるときに、どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。 ・契約が対等な当事者の合意といえるための条件を理解する。 ・紛争を公正に解決するために必要なしくみについて理解する。 ・民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。	・自身の成長過程や人間関係を振り返りながら、青年期の特徴と課題について理解する。 ・世界の宗教や日本の思想を学び、自身の生き方や社会との関わりについて考える。 ・自分と社会のかかわりや「学ぶ」こと、「生きがい」について考える。 ・実社会の例をもとに、環境保護・生命倫理について考える。 ・民主主義・「法の支配」の成立過程と基本的な考え方を理解する。 ・自由権、平等権・社会権について事例に則して理解を深める。 ・新しい人権を、社会の変化との関連で考える。 ・契約と法、消費者の権利と責任について学ぶ。 ・司法の意義と司法参加仕組みについて考える。 ・選挙の意義と政治参加・世論形成のしくみと方法について学ぶ。 ・ニュースなどの情報を用いて、国会や内閣の役割について調べ、発表する。 ・市町村や都道府県などで、どのような仕組みで政治が行われているか調べ、発表する。 ・事例をもとに世論とメディアについて考える。
2	主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割 第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観 主題10 市場経済の機能と限界		・主権国家と国際社会の成り立ちを理解する。 ・日本国憲法の平和主義について理解する。 ・国際平和を実現するために必要な、人としての役割を理解する。 ・経済活動と労働をめぐる現状と課題について理解する。 ・市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。	・国家の成り立ちと国際社会のしくみと課題について、事例に基づいて考える。 ・憲法と自衛隊の関係や安全保障のあり方について調べ、整理する。 ・外交の歩みと日本の役割について整理する。 ・労働や雇用の変化、労働者の権利について調べる。 ・日本経済の変遷と現状・課題について学ぶ。 ・企業の規模や事業内容などについて、具体例をあげて調べる。 ・経済の大きさや動きをどのようにして把握するのかを学ぶ。 ・市場経済のしくみと市場の限界について、事例に則して考える。 ・労働や雇用の変化、労働者の権利について調べる。
3	主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障 主題13 経済のグローバル化 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ①地球環境問題 ②資源・エネルギー問題 ③生命倫理 ④情報 ⑤国際社会の課題		・金融市場の役割を理解する。 ・財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府の果たすべき役割を理解する。 ・貧困や格差を乗り越えて、人々が幸福に暮らすために、国際社会や私たちが果たすべき役割について考える。 ・持続可能な社会づくりに向けた役割を担う主体となることに向けて、現代の諸課題を探究する活動を行う。	・金融の役割と動きについて事例となるニュースを手がかりに調べる。 ・財政の仕組みや日本の財政問題について考える。 ・日本の社会保障制度を健康保険制度など身近な事例から調べる。 ・経済のグローバル化を、ニュース等をもとに調べる。 ・持続可能な社会の形成に向けて、課題を設定し、様々な方法で調べ、分かったことをまとめ、発表する。
学習上の留意点		変動の時代に対応する社会人としての知識・技能と考え表現する力を身につけ、社会に関わり、社会を形成しようとする主体性を身につける。		

「授業年間計画表」（シラバス）

令和5年度版

教科・科目	教科	科 目		単位数	履修学年
	公民	政治・経済	選択	2 単位	3 年 全 コース
目 標	①現代の政治，経済，国際関係などについて客観的に理解するとともに，現実の情勢を主体的に探究する態度を身につけます。 ③日本国憲法の基本原理，日本の政治機構などについて理解し，現代の政治の諸課題について考察を深めます。 ③現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解するとともに，国民経済の動向および，政府の役割と日本経済が抱える課題などについて考察します。				
使用教材	教科書：実教出版「最新政治・経済 新訂版」				
評価の観点・評価規準	関心・意欲・態度		思考・判断・表現	技能	知識・理解
	○現代の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題や課題にかかわる事柄に関心をもち，意欲的に探究しようとしているか。 ○社会的事象を総合的に理解し考察しようとする態度を身につけているか。 ○国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進をはかるため参加，協力する態度を身につけているか		○現代の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題，人間にかかわる諸課題を考察し，それらの本質や特質，さらには望ましい解決のあり方について広い視野に立って多面的，多角的に考察しているか。 ○社会の変化やさまざまな立場，考え方があることを理解した上で公正に判断しているか。	○現代の政治，経済，社会，国際関係などにかかわる基本的な問題や重要な課題にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアから収集し，有用な情報を適切に選択・活用することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し，社会の諸問題を探究する学び方を身につけているか。	○現代の政治，経済，社会，国際関係にかかわる基本的な事項や課題について体系的，総合的に理解し，その知識を身につけているか。
評価方法	○授業の出席を重視し，集中して授業に取り組み，発問に対しては適切な発言・発表ができる。 ○板書した内容を，ノートに要点よくまとめ，課題は提出期限を守って提出する。 ○定期考査をしっかり受け，課題などは丁寧に仕上げる。				
学期	学習内容		学習のねらい		学習活動)
1	①世界のおもな政治体制 ・民主政治の成立 ・基本的人権の確立 ・現代の民主政治 ②日本国憲法の基本原理 ・日本国憲法の制定と基本原理 ・基本的人権の保障 ・平和主義 ③日本の政治機構 ・国会と立法内閣と行政 ・裁判所と司法 ・地方自治 ④現代政治の特質と課題 ・戦後政治と政党 ・選挙と政治意識 ・世論と政治参加		①民主政治の基本原理について，その成り立ちを歴史的な観点から理解し，また，民主主義を支える「法の支配」の原理についてその意義を学び，実社会を規制する法の意義や機能について学習する。 ②日本国憲法の成立過程と三大基本原理である国民主権，基本的人権の尊重，平和主義について歴史的な経緯を踏まえながら理解する。 ③国会が「国権の最高機関」とされることの意義と三権分立との関係を理解する。また，二院制を採用している意義と特徴および衆議院の優越がどのように機能しているかについて学習し，日本の国会の権限と課題について考察する。 ④民主政治における正答や利益集団の意義と役割について考察し，あわせて日本における正答の歴史的経緯について理解する。		①民主政治の成立を支えた出来事について理解し，また，「法の支配」と法治主義の違いを考える。 ②大日本帝国憲法と比較しながら考察する。また，国民的判断が求められる憲法第9条や集団的自衛権の問題，有事法制や国際貢献のあり方について自分自身の問題として考察する。 ③行政機構のしくみや権限について問題点に触れながら理解する。 ④政党の変遷について調べ，その特徴について考察する。
2	⑤現代の国際政治 ・国際政治の特質 ・国際社会と国際法 ・国際連合の役割と課題 ・戦後国際関係の展開と日本 ・国際政治の課題 ・地球環境と資源・エネルギー問題 ・国際社会における日本の役割 ⑥現代の資本主義経済 ・資本主義体制の成立 ・資本主義経済の発展と変容 ・経済主体と経済の循環 ・生産のしくみと企業 ・市場経済の機能と限界 ・国民所得と経済成長 ・金融のしくみと機能 ・財政のしくみと機能		⑤国際社会の成立過程と主権国家と国際社会の関係について学習し，国際組織や地域的機構など主権国家以外の構成要素会との関係につや新たに登場してきたNGOの役割について理解し，国際社会と個人との関係について考察する。 ⑥現代の資本主義経済がどのような歴史的経緯をへて成立しているのを，理解するとともに，資本主義経済の特徴についても理解する。		⑤国際社会の特徴を考察し，秩序維持のためにどのようなしくみや組織があるかを調べる。 ⑥資本主義経済の成立と特徴を経済理論との関係でとらえます。インターネットなどを利用して現代経済の特徴を調べる。

	⑦日本経済の発展と産業構造の変化 ・経済再建から高度成長へ ・オイル・ショック後の日本経済 ・日本経済の現状 ⑧福祉社会と日本経済の課題 ・公害と環境保全 ・消費者問題 ・農業・食料問題 ・中小企業の現状と課題 ・雇用と労働問題 ・社会保障と福祉	⑦第二次世界大戦後の日本経済復興期の諸改革や高度経済成長くオイル・ショック後の日本経済の変容と産業構造の変化について理解し、バブル経済ちとその崩壊について考察する。 ⑧公害や産業構造、労働関係、社会保障といった日本経済が直面する課題について理解し、今後の展望について考察する。	⑦父母や祖父母の時代の経済状況を聞き取るなどして調べます。また、この時代を象徴する出来事について整理し、その背景について考える。 ⑧日本経済の今日的課題について、教科書の図版や資料、新聞等を活用して整理分析し、相互で意見交換する。
3	⑨現代の国際経済 ・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際経済 ・国際経済の動向(1) ・国際経済の動向(2) ・発展途上国の諸問題 ・経済協力と日本の役割 ⑩現代社会の諸課題	⑨貿易の意義や国際収支、為替相場の仕組みといった国際経済の基本的な事項について理解を深る。戦後の国際経済の流れを踏まえ、地域統合や経済摩擦、南北問題など国際経済を取り巻く課題について理解を深める。 ⑩政治や経済に関する基本的な理解を踏まえ、現代の政治や経済の諸課題を主体的に追究する態度を養う。	⑨地理・歴史科の学習と関連させながら、EU や WTO の動向、国際通貨危機など国際経済のダイナミックな動きを学習する。 ⑩現代社会の今日的課題を選択し、共通した課題を取り上げた生徒同士で調べ学習を実施し、レポートを作成したり、その成果を発表したりする。また、ディベートも取り入れる。
学習上の留意点	変動の時代に対応する社会人としての知識と見通しを身につけさせる。		